



男体

第47号
平成18年11月1日発行

とちぎ教育の日

第37回 栃木県カブラリー



とちぎの探検隊

ミステリーツアー-Part2 in くずう



10月15日(日)佐野市あくとプラザにおいて、「とちぎ教育の日」協賛第37回栃木県カブラリーが開催されました。

とちぎの探検隊 ～ミステリーツアー-Part2 in くずう～ のテーマで、会場周辺数ヶ所での火おこしゲーム等を楽しんだ後、第12回日本ジャンボリーの記録ビデオの上映や、青藍泰斗高校ブラスバンドの演奏会などが行われ秋の一日を過ごしました。

目次	
アジア学院見学	2
WB研修所VS課程	3
東部地区スカウトラリー	3
西部地区リーダーセミナー	4
北部地区指導者講習会	4
東部地区リーダーセミナー	5
信仰のたしなみ	6
私のおきて指導	7
事務局のうごき	8

アジア学院見学会

10月14日(土)秋空の下グローバル委員会主催の「アジア学院収穫祭」に本年度も参加してきました。今年は今市2団を中心にスカウト25名指導者5名の参加でした。

例年学院のスタッフに場内を説明していただいておりますが、スカウト達が農場の創意工夫に関心を持ち、水や食べ物の大切さや、食べ物を残すことが「もったいない」という気持ちをいつまでも持ち続け、国際理解やエコに少しでも関心を持てる機会を提供できたことが嬉しく思いました。

県グローバル委員長 橘 豊祐



アジア学院に行くのは初めてで楽しかったです。実際ににわとりやブタや牛を見ることができて少しくさかったけど、とてもよかったです。

そしてたくさんのお店がならんでいました。中でもスイートポテトなどがおいしかったです。

それとアジア学院の人達は自分たちで野菜や魚や肉などを育てて食べたり売ったりしていることもすごいと思いました。自然の物を利用したり、動物のフンなどを肥料にしたりして、節約のようなこともすばらしいと思いました。また「アジア学院」に行ってみたいです。

今市第2団 トナカイ班 原田 嵯弥



今日初めてアジア学院見学に行きました。ぶた、牛、にわとり、ウサギの飼育小屋を見て回ったり、ミーティングルームを見たり屋台なども見て回りました。

中でも一番印象に残っているのは、ぶたの飼育小屋です。あの小屋はとてもおっていてあまりいい所ではないと思います。

ぶたは結構かわいかったです。中でも一番かっこいいのは、たった1匹のオスぶたです。大将みたいにずっとして、はっきり言うと「星野隊長」みたいです。真っ黒でちょっとでぶっちょでまるで育ちすぎた子犬と言う感じがしました。オスぶたの飼育小屋はメスぶたの小屋よりキレイでにおいもきつくありませんでした。でもオスぶたのお肉はくさい(?)らしいです。

次に印象てきだったのは色々な国の人たちです。私個人としては早く英語や外国語をしゅうとくして、いろいろな国の人々と仲良くなりたいです。

今市第2団 コブラ班 小椋 亜季



W B 研修所 V S 課程

9月15日(金)～18日(月)の3泊4日、那須烏山市の県連野営場において、TTディレクター出井肇所長のもと9名の参加者で行われました。以下、参加した今市2団・阿久津さんの感想です。

「V S 研修所に参加して」

14NJの感動の余韻も覚めやらぬ中で参加しました。いびきがうるさい(妻に言わせると怪獣並?) 私にとっては、単独テント泊は気兼ねしない反面、広い5人用テントでの夜は少し寂しさを感じました。

研修生は県内各団の経験豊富な方達ばかりで、かけだしのパパさん指導者の私にとって最初は不安でしたが、たよりがいのある出井所長さんを始め、所員・スタッフの皆さんからの「目配り・気配り・思いやり」で親切に、わかりやすくセッションを教えて頂き、研修生の皆さんからも有意義な話題などをたくさん聞かせて頂いて、ベンチャースカウト



活動について知識を深めることが出来ました。台風が接近する中での4日間で、時々雨模様でしたが、「行くことによって学ぶ」の概念のもとで自分のスキルアップに大きく寄与してくれた研修でした。

今後とも先輩指導者の皆さん方にアドバイスを受けながら、この研修所で学んだことをスカウト活動に取り入れて行ければと思います。

出井所長さんを始め、所員・スタッフの皆様、そして研修生の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今市第2団 阿久津 好光

東部地区スカウトラリー

木々の葉も色づき始めた10月26日(日)真岡市井頭公園において第8回東部地区スカウトラリーを開催しました。

昨日から心配された天候も、開会式後には太陽が顔をのぞかせ、絶好のラリー日よりとなりました。

実施にあたって、上進後間もないスカウトの参加も見込まれることから、各ポイントにおける点数の低迷、各団とのレベルの問題、ポイントの消化等々懸念されるため、スカウトの基本となる“ちかいとおきて”をはじめ、読図・ロープワーク・計測・救急法・手旗等に加え、“スペシャルポイント”(点数倍増)コーナーの設置や、会場内を歩き回る“Wanted”達(謎のサンタクロースやかわいい魔女?、謎の釣人、謎の美女???)。この



不思議な季節はずれの情景に、一般客も思わず振り向き…)の観察やスケッチなど、計9カ所の多種多様なポイントを設け、高得点・高消化率を期待しました。今回は、この“スペシャルポイント”や“Wanted”が功を奏し、数多くのポイントをクリアし、高得点でゴールする班が多く見られました。特にスケッチでは女子スカウトの活躍がめざましく、かなりの得点を得ていました。

結果としては、宇都宮13団ワシ班が初優勝となり、隊長さんはじめ団関係者も思いも寄らぬ優勝にビックリ!!優勝旗・優勝杯そしてNo.1チーフリングが授与され、無事終了いたしました。

今後も第9回、10回と回を重ね、更にスカウトのレベルアップを目指し、楽しいスカウトラリーになるよう努力してゆきたいと思います。

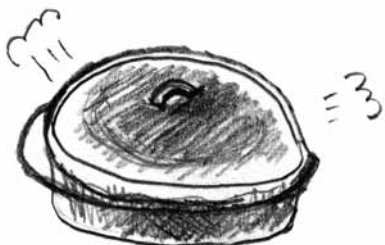
東部地区プログラム委員長 揚石光春

西部地区リーダーセミナー

西部地区リーダーセミナー 「野外料理」

この活動を通して、新たな仲間づくりをすることを目的として、一般の方にも参加を呼びかけ、実践から理解していただく事でリーダーへ導くのも方法の一つではないかと思ひ・・・結果、一般から2名の方の参加がありました。

講師は西部のダッチオープン好きのリーダー！ダッチオープン料理が4種類、簡易オープン料理、簡単おにぎり、



北部地区指導者講習会

10月1日（日）那須烏山市立中央公民館で、北部地区指導者講習会が行われました。

白澤嘉宏 主任講師のもと、14名の参加者があり、今後の活躍が期待されます。

今回、ご夫妻で参加された、平石さんに感想をいただきました。

指導者講習会に参加して

この9月から、子供たちがビーバー隊、カブ隊に仲間入りさせていただきました。活動に参加する子供たちの目の輝きが増していくのを側で実感。

そんなスカウト活動について、少しでも理解を深められたらと、今回の講習会に参加させて頂きました。

創始者ベーデン・パウエル熱い思いと共に、国境を越えて世界中に広がったスカウティング。子供たちが、体験、実践を通し一人一人自ら学ぶことが活動の柱であり、それらの活動を、経験を積まれた指導者の方達、そして様々な役割を担う組織が支えて下さっているというこ

とがとてもよくわかりました。

とがとてもよくわかりました。初心者の私達でしたが、活動について一歩理解を深めることが出来ました。

ご指導頂いたスタッフのみなさんの、スカウトに対する思いや情熱が伝わり長いようであったという間、本当に充実した講習会であったと思います。

新たな出会いや冒険を、子供たち、そして私達も楽しみにしています！

大変お世話になり、ありがとうございました。

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵



大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

大田原第1団保護者 平石 健・幸恵

東部地区リーダーセミナー

日時：9月30日（土）10時～16時

場所：（宇都宮）豊郷地区市民センター

内容：＜オカリナ作り＞

☆“オカリナ”って言うそうです。何語＝イタリア語：oca「ガチョウ」rina「小さい」に由来し、小さなガチョウの意味

☆今回のセミナーでは、9名の参加者が“オカリナ”作りに挑戦しました。想像以上の作品が（中途まで）完成し、各々、大満足で作品の焼き上がりを待っています。（陶芸と同じ？なのかな・・・？さて、焼き上がりの作品は・・・）

仕上げ＝焼くことから音調整まで先生におまかせ！！オカリナの色づけの為、先生はコーヒー豆を挽いて渋い黒の“オカリナ”になるようひとつひとつ愛情込め磨いてくれている様を思いつつ、ただ、楽しみにしている参加者の皆さんです。すばらしい作品が完成するのは間違いなしですね。

☆＜マイ・オカリナ＞

“オカリナ”の指の部分となる穴は、自分に合った位置にでき市販の“オカリナ”以上にぴったり相性のいい“オカリナ”となっているはず！！アンサンブルできるかな～？各人レッスンに励まなければ・・・



☆＜作り方＞ 信楽焼きの粘土を使用しました。4つの型を使い、表裏2つのパーツ（丁度もなかのよう）を作り、表裏の2つを合わせひたすら粘土を磨きつやつやにします。最後に＜マイ・オカリナ＞ですから自分のイニシャルを刻印し、参加者の講習は終了。専用の窯で焼き音調整となります。

☆印南宏先生（佐野市の小中学校の元先生、佐野市を中心に“オカリナ”の普及のためオカリナ教室など開催）および佐野4団金原先生のご指導にお礼申し上げます。

東部地区開発委員長 高嶋孝夫

《広告》

有限会社 酔心

酔心 suisin in ぱるてい

宇都宮市野沢町4番地1 〒320-0071
 パルティとちぎ男女共同参画センター1F
 TEL (028) 666-1331・FAX (028) 666-1332

各種弁当承ります。

酔心は、ボーイスカウト栃木県連盟の事業に協賛しています。



私と信仰

「ボーイスカウトは、明確な信仰を持つことを奨励する」、この言葉を聞いて、皆さんはどんな感じを持つでしょうか。

私がボーイスカウトのリーダーになってから27年ほど経ちました。私の団の育成母体が宗教団体（立正佼成会）ということで、スカウトに対しては、手を合わせる事、親を大切にすること、まわりの人たちや色々なものに感謝をすること等々について、私の信仰生活の中で学ばせていただいたことを言葉だけではなく、自ら実践する姿を見ながら育っていくことができますように、と努力をしてきました。

難しくなるかもしれませんが、誤解を避けるため、「信仰生活」という言葉の意味を述べておきたいと思います。どのような宗教団体にも「信仰者としての基本の行」というものがあると思います。私どもの場合は「五種法

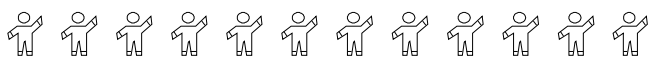

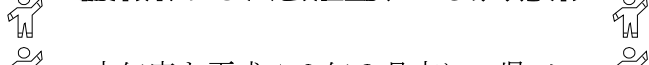
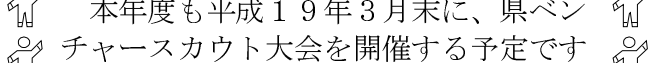
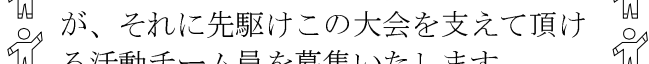
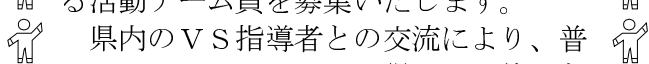

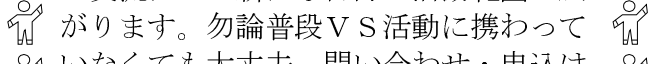
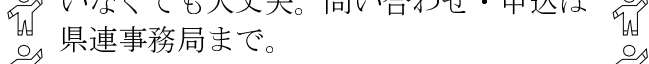
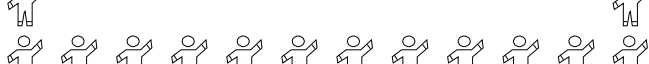
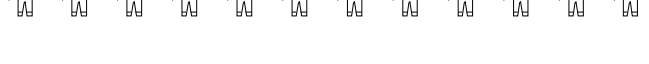
師（ごしゅほっし）」が基本となっています。受、持、読誦（どくじゅ）、解説（げせつ）、書写の五つです。これらのもつ意味も大切なので次の機会に述べたいと思いますが、とにかく、この行を常に生活の中で行じていくということ、これは特別なことではなく、普通の生活こそが大切だということなのです。

人間は、素晴らしいものを持っている反面、欲のかたまりでもあります。お経文の中にも「諸苦の諸因は貪欲（むさぼる欲）これ基なり」と説かれています。

自分の人間としての歩みを常精進（毎日毎日が精進の積み重ね）として努力することが信仰を持つことなのです。

鹿沼第4団
ベンチャー隊長
宇賀神伴吉



栃木県VS大会活動チーム員募集

本年度も平成19年3月末に、県ベンチャースカウト大会を開催する予定ですが、それに先駆けこの大会を支えて頂ける活動チーム員を募集いたします。

県内のVS指導者との交流により、普段のVS活動のヒントを得たり、他団との交流により新たな自隊の活動範囲が広がります。勿論普段VS活動に携わってなくても大丈夫。問い合わせ・申込は県連事務局まで。



私のおきて指導

ボーイスカウト活動の基盤になるのが「ちかい」と「おきて」です。そして、その実践を通じた自発活動がスカウティングなのだと思えます。「ちかい」はスカウトとしての決意の表明であり、この運動の基本であるのに対して、「おきて」はスカウトの日々の生活の規範であり、目指すべき方向であるといえます。

私はビーバー隊長を務めていますので、「やくそく」と「きまり」をビーバースカウトに指導しているのですが、活動の中で常に頭においているのは、「やくそく」と「きまり」は「ちかい」と「おきて」と全く同じものであり、ただ言葉が易しくなっているだけである、ということです。当たり前前のことですが、ビーバーの「きまり」はすべて「おきて」の8つの徳目につながっているのです。



しかし、ビーバースカウトに「きまり」を理解させるのは、そう簡単なことではありません。この年代のスカウトには、言葉で説明することも大切ですが、重要なのはスカウトの「きまり(おきて)」の実践につながる行いに対して、指導者が適切に『ほめる』ことによって、自然にビーバースカウトの身につくようにすることなのです。

私は、ビーバー部門ではスカウトが「こういうことをすればほめてもらえる」と認識できる段階まで進めばそれでいい、と思っています。ビーバーを経験し、カブからボーイへと上進する過程の中で、スカウト一人ひとりが自分自身の力で「おきて」の意味を理解出来るように導いていくのが、我々指導者の役目なのだと思います。

そこでビーバー隊の指導者に必要になってくるのが、「スカウトの話をよく聞く」ということと「スカウトから目を離さない」ということです。ここでの「目を離さない」というのは危険防止と同時に、常にスカウトの行動に注目していることにより「ほめる」チャンスを逃さないようにすることです。勿論、時にはしかることも必要だとは思いますが、この年代のスカウトの特性から考えると、ほめながら育てていくことが最良の指導法なのだと私は信じています。

宇都宮第18団
ビーバー隊長
小埜 修



《広告》

Life Guard Management

■東京海上日動火災 ■東京海上日動あんしん生命 ■富士火災

私達は、栃木県のボーイスカウト
一人ひとりを見守っています。

有限会社 ライフガードマネジメント
代表取締役 上久保 隆一

〒320-0057 宇都宮市中戸祭1-5-25
TEL 028-650-4329 FAX 028-650-4328

丸いゲルで仲間と顔を見合わせながら語り合う。
絆を深め異文化体験もできる場所“テンゲル”
スキーや雪上活動にも！

1泊2食 ¥6,300～
【※、活動場所への送迎有】

テンゲルはボーイスカウト栃木県連盟の事業に
協賛しています。

モンゴリアビレッジテンゲル
那須郡那須町大字高久丙1577-9
http://www.nasu-forum.co.jp
tel:0287-76-6114

事務局の動き



【平成18年】

- 9月 2日 (土) WB研修所V S 課程 所員会議
- 9月 2日 (土) 理事会
- 9月15日 (金) WB研修所V S 課程栃木4期
～18日 (月・祝) (那須烏山市 C C C 野営場)
- 9月18日 (月・祝) スカウトの日 (カントリー大作戦)
- 9月23日 (土) リーダーセミナー (野外料理・日光市)
- 9月23日 (土) 組織委員会
- 9月24日 (日) 団運営研修所スタッフ会議
- 9月30日 (土) リーダーセミナー (オカリナ・宇都宮市)
- 10月 1日 (日) 北部地区指導者講習会 (那須烏山市)
- 10月 7日 (土) 各種運営委員長会議
- 10月14日 (土) アジア学院見学会 (那須塩原市)
- 10月15日 (日) 第37回栃木県カブラリー (佐野市)

今後の予定

- 11月 4日 (土) 理事会
- 11月11日 (土) とちぎ教育の日
- 11月19日 (日) 開発委員会
- 11月23日 (木祝) 団運営研修所関東10期
～25日 (土) (那須野営場)
- 11月25日 (土) 全国事務局長会議
- 11月26日 (日) プログラム委員会
- 12月 2日 (土) グローバル委員会
- 12月 2日 (土) 各種運営委員長会議
- 12月 9日 (土) 技能章 (炊事章) 考査員養成講習会
- 12月10日 (日) 名誉会議
- 12月10日 (日) コミッショナー全体会議
- 12月25日 (月) 組織委員会

【平成19年】

- 1月 6日 (土) 団役員指導者研修会 (大田原市)
- 1月 7日 (日) 理事会



シラツゴー
ヒバスケくん ー 森木で
あそぶの巻

どかげ	白い花	ひら虫	くものす	とんぼ
ひかるもの	あおむし	むしい	木のうろ	のり
しまま	あかい	たい	どんぐり	すじか
もふ	はあ	ちゆう	きん	3本の
ぶ	木の	きい	すじか	みず
ひつ	きりが	はあ	5本の	たまり
ひろ	が	はあ	はあ	かえる
ほ	パンチ	ま	まるい	
い		あ	いし	

さかして
○を
つけよう

ー
に
ある
もの
を

も
の
の
じ
ん
ご
う
を
し
ま
す

あ
ち
の
ほ
ん
に
い
っ
て
み
よ
う

こ
ん
ち
に
か
ち
り
に
は
っ
お
み
お
み
つ
け
!!

5
本
す
じ
の

た
い
ち
よ
う
ど
う
す
る
っ

た
い
ち
よ
う
だ
い
ち
よ
う
ほ
も

み
つ
け
ら
れ
な
い
わ
る
い
と
お
も
つ
て
み
つ
け
ら
れ
な
い

ウ
ー
ン

作：をかもと

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号

電話 028(621)9800
Fax 028(621)9800
Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp
info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク (SOY INK) を使用しています。